

vocaster two

48V  

Host

Guest



Host

Guest

vocaster two

Focusrite®

Vocaster Two ユーザーガイド
バージョン 2.0

目次

Vocaster Two 概要	3
導入	3
ハードウェア機能	4
箱の中には何が入っていますか?	4
システム要件	4
入門 Vocaster Two	5
イージースタートツール	5
Mac ユーザー	5
Windows ユーザー	7
iPad ユーザー	8
すべてのユーザー	10
DAW でのオーディオ設定	11
Hindenburg のオーディオ設定	12
使用して Vocaster Two	13
マイクを使った録音	13
マイクのセットアップ	14
ヘッドフォンで聞く	20
スピーカーで聞く	21
電話の録音	22
Bluetooth の使用	23
ビデオカメラへの録画	25
使用方法 Vocaster Two の中で Vocaster Hub ソフトウェア	26
マイクの制御	28
ミックスをコントロールする	29
コンピューターからの音声録音	30
ループバックの使用例	30
ソフトウェアへのトラックの録音	31
Vocaster Two ハードウェア機能	32
トップパネル	32
背面パネル	34
Vocaster Two 仕様	35
性能仕様	35
物理的および電気的特性	36
その他の情報	37
トラブルシューティング	37
著作権および法定通知	37
コンプライアンスステートメント	37
クレジット	37

Vocaster Two 概要

導入

新しい Vocaster Two オーディオインターフェース。Vocaster Two 最小限の手間でプロフェッショナルな ポッドキャストを作成できるように設計されています。

プロガー、ナレーター、ストリーマー、オーディオブッククリエイターなど、あらゆるコンテンツクリエイターが利用できます。Vocaster Two そして含まれている **Vocaster Hub** コンピュータ、カメラ、または iPad に高品質のオーディオを録音するためのソフトウェア。

私たちは設計しました Vocaster Two あらゆる経験レベルのユーザーに対応。自動ゲイン調整やエンハンス機能など、クリアで安定した録音を素早く実現できます。

その **Vocaster Hub** このソフトウェアはシンプルさを念頭に設計されています。画面上のミキサーを使えば、録音時に完璧なバランスを実現できるだけでなく、基本的な録音コントロールにもアクセスできます。

その Vocaster Two インターフェイスには 2 つの独立した高品質のマイクプリアンプが搭載されているため、別々のマイクを使用してゲストのライブインタビューを録音し、最高のオーディオ結果を得ることができます。

接続する Vocaster Two 付属の USB-C ポートとケーブルを使ってコンピューターに接続できます。リアルタイムでオーディオをライブストリーミングしたり、録音して後で編集・アップロードしたりできます。

Vocaster Two ケーブルまたは Bluetooth 経由で対応スマートフォンと双方向接続できるため、インタビューなどの音声をスマートフォンからコンピューターやカメラに録音できます。また、カメラのオーディオトラックにビデオと完全に同期させて録音することも可能です。ストリーミングや録音の進行状況は、ヘッドフォンまたはスピーカーでモニタリングできます。

その Vocaster Two インターフェースと付属の

Vocaster Hub コントロール ソフトウェアは、Mac と Windows の両方をサポートします。

Vocaster Two USB-C ポートを搭載した Apple iPad とも互換性があるため、タブレット形式によるさらなる携帯性と利便性を活用できます。

このユーザーガイドで必要な情報が見つからない場合は、support.focusrite.com には、「はじめに」セクション、セットアップガイド、テクニカルサポートがあります。

設定方法と使用方法を説明するビデオシリーズ Vocaster Two は、当社の [始める](#) ページ。

ハードウェア機能

Vocaster Two macOS または Windows を実行しているコンピューターに 1 つまたは 2 つの高品質マイクを接続できます。これにより、ほとんどのラップトップやタブレットに内蔵されているマイクを使用するよりもはるかに優れたオーディオ録音を実現できます。

マイク入力は、ダイナミック型とコンデンサー型を含む様々なマイクモデルに対応しています。コンデンサーマイクを使用する場合は、Vocaster Two 動作に必要なファンタム電源 (48V) を供給できます。

マイクの信号は、最大 24 ビットの解像度、48 kHz のサンプルレートで、USB-C 接続を介してコンピューターのオーディオ録音ソフトウェアにルーティングされます (24 ビット/48 kHz は、ほとんどのポッドキャストの標準です)。

録音ソフトウェアをお持ちでない場合は、Hindenburg をお勧めします。これは、Vocaster ユーザーに無料で提供されるソフトウェアパッケージに含まれています。

3.5mm ジャックソケットで携帯電話を接続できます Vocaster Two: または、Bluetooth を使って携帯電話に接続することもできます。2 つ目の同様のソケットにはビデオカメラを接続できます。

電話コネクタは TRRS です。TRRS は、電話の入出力の両方でオーディオを取得できることを意味します。そのため、電話からオーディオを録音できるだけでなく、番組に録音している他のオーディオソースも電話で聞くことができます。

Vocaster Two ヘッドフォンとスピーカーの両方の出力があります。ホストおよびゲストのヘッドフォン用にフロントパネルに 1/4 インチ TRS ソケットが 2 つ、スピーカー接続用にリアパネルに 1/4 インチ TRS ソケットが 2 つあります。

上部パネルには、いずれかのマイクのゲインを制御するための多機能ノブ、またはリスニング レベルを設定するための 2 つの個別のノブ (ヘッドフォンのペアごとに 1 つ) があります。

「ホスト」コントロールは、外部モニタースピーカーを使用している場合、その音量も調整します。マイクコントロールは、マイク信号レベルを示す 2 つのハローメーターと、ゲイン設定を示す別のハローメーターに囲まれています。

3 つの点灯ボタンが 2 セットあり、マイク入力の自動ゲイン機能を選択し、拡張機能を有効にして、各マイクをミュートします。

ファンタム電源、Bluetooth 接続、USB 接続がアクティブなときに表示する LED もあります。

箱の中には何が入っていますか？

- Vocaster Two
- USB-C to A cable

システム要件

お使いのコンピュータのオペレーティング・システム (OS) がに対応しているかを確認するには、ヘルプセンターの互換リストをご参照ください。

Focusrite ヘルプセンター：互換性 <https://support.focusrite.com/hc/en-gb/categories/200693655>

互換性リストは、OS の新バージョンのリリースに応じて随時更新され、ヘルプセンターにてご確認いただけます。

support.focusrite.com

入門 Vocaster Two

接続すると Vocaster Two 初めての場合は、コンピュータはそれを USB メモリスティックと同じように認識します。

イージースタートツール

立ち上げと実行 Vocaster Two イージースタートツールを使えば簡単です。これを使用するには、Vocaster Two 付属の USB ケーブルを使用してコンピューターに接続し、背面パネルの USB ポートの横にある電源ボタンを押して電源を入れます。

次の手順では、画面に表示される内容を示します。オーディオインターフェイスを初めて使用する場合でも、初めてでない場合でも、セットアップに役立ちます。

Mac ユーザー

Vocaster を Mac に接続すると、ポップアップが表示されたり、デスクトップに Vocaster アイコンが表示されます。

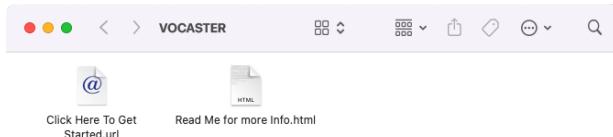


Google Chrome のポップアップ

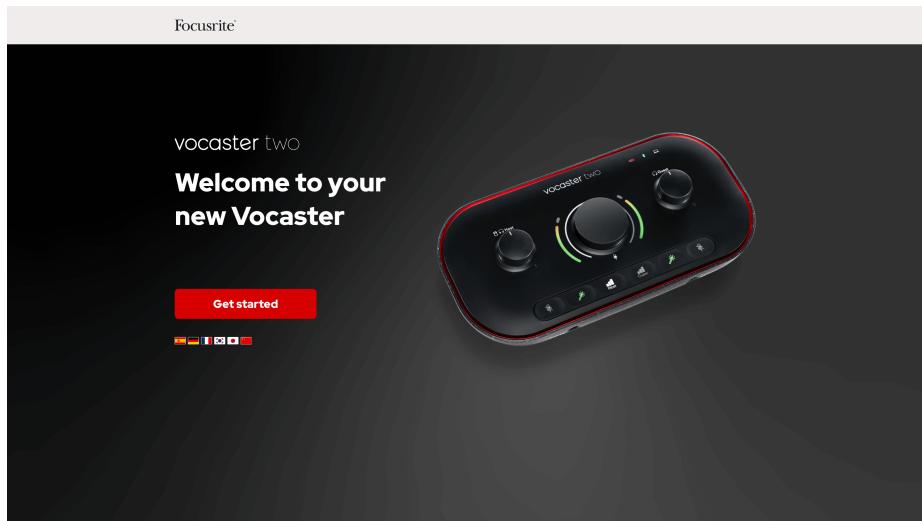


Vocaster Easy Start アイコン

アイコンまたはポップアップをダブルクリックすると、以下に示す Finder ウィンドウが開きます。



ダブルクリックして **開始するにはここをクリックしてください。** アイコンをクリックすると Focusrite のウェブサイトにリダイレクトされます。付属のソフトウェアパッケージにアクセスするには、Vocaster を登録することをお勧めします。

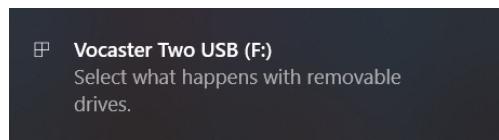


フォームを送信した後、ご希望の使い方に合わせたステップバイステップの設定ガイドに従うか、Vocaster Two または、アカウントに直接アクセスしてダウンロードしてください。Vocaster Hub 制御ソフトウェア。

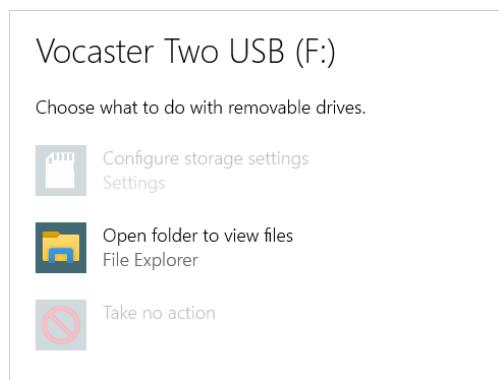
接続すると Vocaster Two すると、コンピューターがこれをデフォルトのオーディオデバイスとして設定するはずです。設定されない場合は、**システム環境設定 > サウンド**入力と出力が設定されていることを確認してください **Vocaster Two USB**。

Windows ユーザー

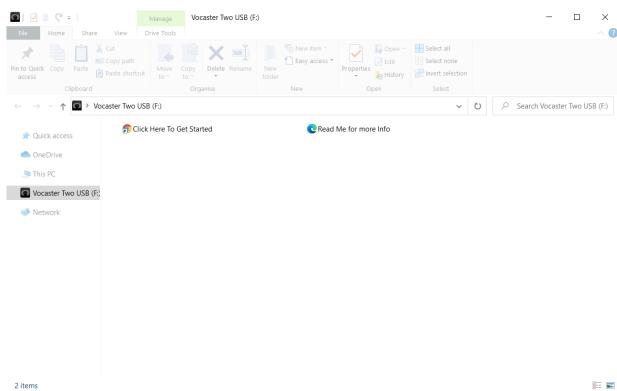
接続すると Vocaster Two PC に次の通知が表示されます:



通知をクリックすると、以下に示すダイアログボックスが開きます。

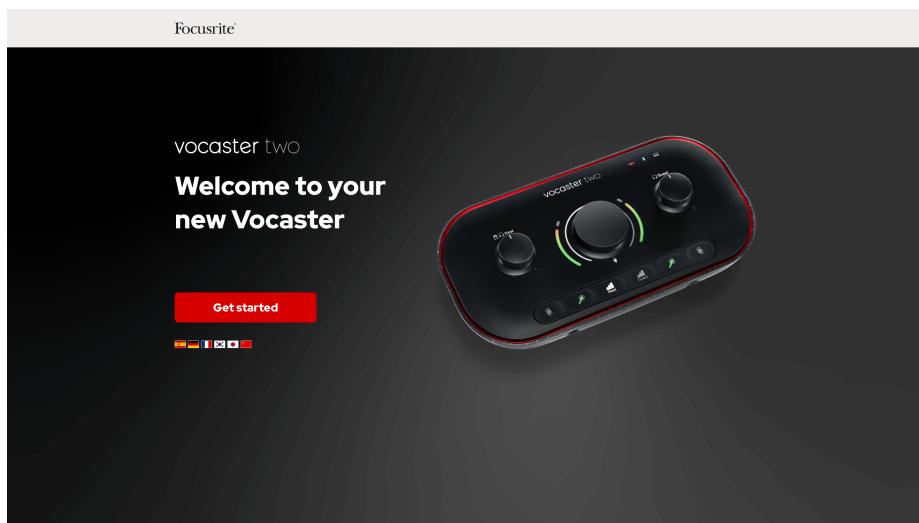


ダブルクリック: フォルダを開いてファイルを表示するすると、エクスプローラー ウィンドウが開きます。



ダブルクリック: 開始するにはここをクリックしてください

これにより、Focusrite の Web サイトにリダイレクトされます。ここでデバイスを登録することをお勧めします。



フォームを送信した後は、以下のステップバイステップの設定ガイドに従うか、

お客様の使用方法に合わせたステップバイステップのセットアップガイドに従ってください。Vocaster Two または、アカウントに直接アクセスしてダウンロードしてください。Vocaster Hub ソフトウェア。

接続すると Vocaster Two すると、コンピューターはそれをデフォルトのオーディオデバイスとして設定するはずです。設定されない場合は、**設定 > システム > サウンド**、設定する Vocaster Two として入出力デバイス。

iPad ユーザー

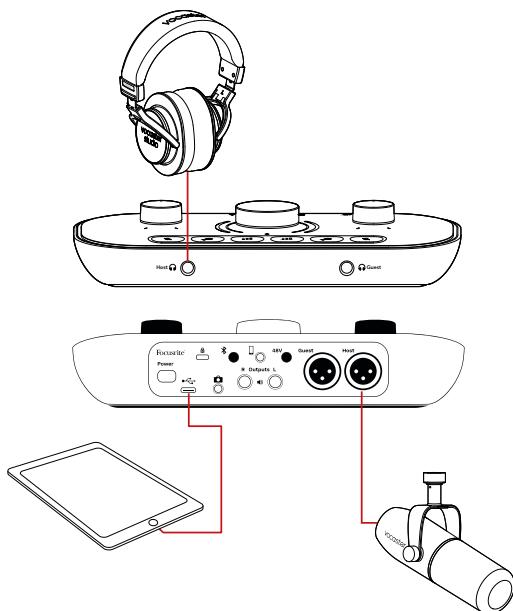


注記

接続する前に Vocaster Two iPad に接続するには、上記の「はじめに」セクションに従って、ハードウェアが最新の状態であることを確認することをお勧めします。Vocaster Hub。

接続するには Vocaster Two iPadOS デバイスに必要なもの：

- USB-C ポートを備えた iPad。
- USB-C から USB-C へのケーブル (または付属のケーブルと Apple USB-A から C へのアダプタ。ただし、この方法では電源付き USB ハブが必要になる場合があります)。



接続するには:

1. USB Type-C to C ケーブル (またはアダプタ) の一方の端を iPad に接続します。
2. USB タイプ C のもう一方の端を Vocaster Two の USB ポートに接続します。
3. ヘッドフォンまたはモニタースピーカーを Vocaster Two に接続します。

iPad からのサウンドは Vocaster Two の出力。入力に接続されたマイクやその他のソースをルーティングできます。Vocaster Two オーディオ録音をサポートする iOS アプリに。

すべてのユーザー

Easy Start ツールの使用中に問題が発生した場合は、ファイルを開いてください。詳細情報とよくある質問、そこであなたの質問に対する答えが見つかるはずです。



注記

インストールすると **Vocaster Hub** Windows コンピュータでは、**Vocaster Two** 自動的にインストールされます。**Vocaster Hub** Vocaster Windows ドライバーは、登録しなくともいつでもダウンロードできます。以下の「手動登録」を参照してください。

手動登録

登録する場合は Vocaster Two 後で [登録する](#) 固有製品番号 (UPN) を手動で入力する必要があります。この番号はインターフェース自体のベースに記載されており、ボックスの側面にあるバーコードラベルにも記載されています。

ダウンロードしてインストールすることをお勧めします **Vocaster Hub** ソフトウェアアプリケーションをダウンロードすることで、インターフェースの潜在能力を最大限に引き出すことができます。

Vocaster Hub いつでも downloads.focusrite.com をご覧ください。

DAW でのオーディオ設定

Vocaster Two ASIO または WDM をサポートする Windows ベースのデジタルオーディオワークステーション（録音に使用するソフトウェアで、「DAW」と呼ばれます）と、Core Audio を使用する Mac ベースの DAW と互換性があります。上記の Easy Start の手順に従うと、すぐに使い始めることができます。Vocaster Two お好みの DAW で。

USB 接続を介して、Vocaster Two すべてのソースを個別に録音して後でミックスすることができますが、ステレオミックスのショーミックス入力も備えています。 **Vocaster Hub** ソフトウェア。

コンピュータに DAW アプリケーションがインストールされていない場合でも、すぐに始められるように Hindenburg が含まれています。これは、アカウントを登録すると利用できます。Vocaster Two インストールに関してヘルプが必要な場合は、「はじめに」ページをご覧ください。 [ここ](#)、ビデオチュートリアルが利用可能です。

Hindenburg の操作手順は、アプリケーションのヘルプファイルまたは hindenburg.com/academy。

DAW が自動的に選択しない場合があります Vocaster Two デフォルトの入出力デバイスとして設定されている場合、手動で選択する必要があります。Vocaster Two DAW のオーディオ設定*ページで、Focusrite USB ASIO をドライバーとして選択してください。ASIO または Core Audio ドライバーの選択方法がわからない場合は、DAW のマニュアル（またはヘルプファイル）を参照してください。

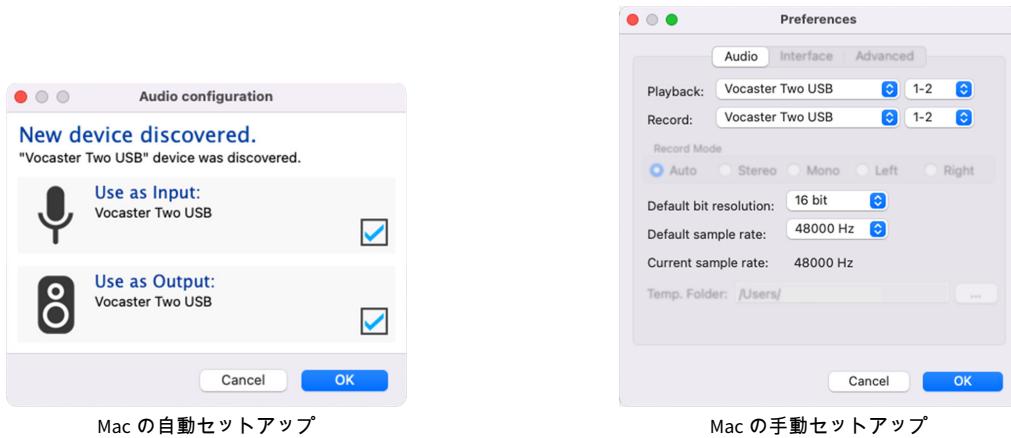
* 一般的な名称です。用語は DAW によって若干異なる場合があります。

Hindenburg のオーディオ設定

例は、Windows と Mac の Hindenburg オーディオ設定での設定を示しています。自動と手動の 2 つの設定があります。

- ・ 設定 ページ (Mac 版)
- ・ ツール > オプション > オーディオタブ (Windows 版)

設定方法と使用方法を説明するチュートリアルビデオがあります Vocaster Two さまざまな DAW をはじめにページ。



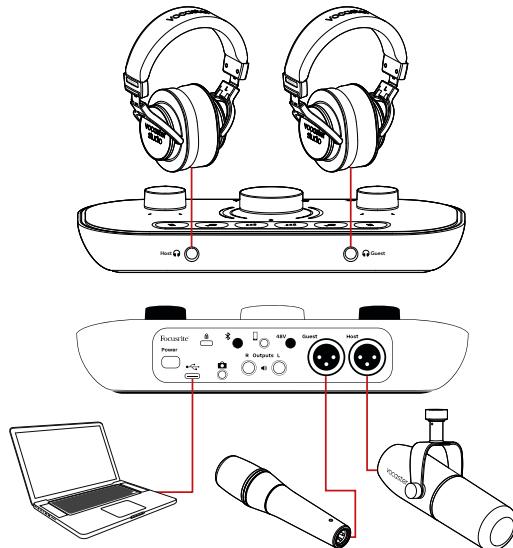
使用して Vocaster Two

Vocaster Two Mac、PC、iPad を使ったポッドキャストや音声録音に最適なオーディオインターフェースです。1人または2人のライブ配信者で使用できます。一般的な接続例を以下に示します。

マイクを使った録音

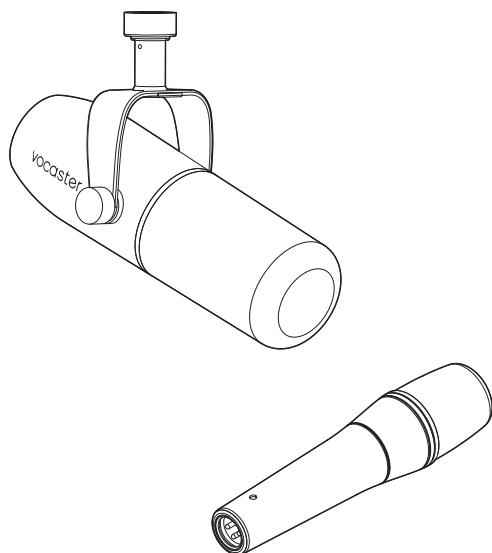
このセットアップは、Mac、PC、または iPad のソフトウェアを使用して2つのマイクから録音するための一般的な構成を示しています。自分の声（ホスト）と他の人の声（ゲスト）を録音しながら、ヘッドフォンで自分の声と他の音声をモニタリングできます。

ヘッドフォン端子を除き、Vocaster Two のすべての接続端子は背面パネルにあります。付属の USB ケーブルを使って、コンピューターまたはノートパソコンの USB ポートに接続します。電源ボタンで電源を入れます。



マイク入力は XLR ソケットで、XLR コネクタ付きのマイクに対応しています。Vocaster Two は、ダイナミックマイクやコンデンサーマイクなど、ほとんどのマイクモデルで使用できます。

ダイナミックマイクは、話し言葉の周波数範囲で優れた品質を提供し、周囲の不要なノイズを拾うのを軽減できるため、音声録音にはダイナミックマイクをお勧めします。



一般的なダイナミックマイク（写真は Vocaster DM1 と DM14v）

Vocaster Two コンデンサーマイクを使用する場合、XLR 入力にファンタム電源（48V）を供給できます。ファンタム電源を有効にするには、ホストまたはゲストボタンを押して入力を選択し、**48V** 背面パネルのボタン：**48V** LED が赤く点灯し、アクティブであることを確認します。

ダイナミックマイクはファンタム電源を必要としません。稀ではありますが、ファンタム電源を使用するとマイクが損傷する可能性があります。ダイナミックマイクをご使用の際は、ファンタム電源をオフにすることをお勧めします。お使いのマイクにファンタム電源が必要かどうかご不明な場合は、付属の取扱説明書をご確認ください。

マイクのセットアップ

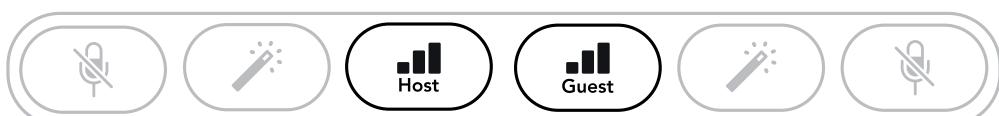
Vocaster Two マイクレベルを正しく設定する方法は 2 つあります。「ゲイン」とは、マイクの信号をどの程度増幅するかを表す用語です。

レベルを自動設定するか、Vocaster Two の自動ゲイン機能を使用するか、手動で調整します。両方の方法については、次のセクションで説明します。

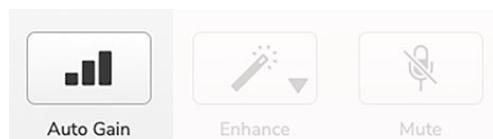
自動ゲインの使用

Vocaster Two の自動ゲイン機能を使用すると、推測することなく適切な録音レベルを得ることができます。

自動ゲインボタンを長押しして自動ゲインを有効にします。■; を押す ホスト または **ゲスト** ゲインを設定するマイク入力に応じてボタンを選択します。または、**ヴォキャスター・ツー** 画面上のアイコンをクリックしてコンピュータ上で開きます **自動ゲイン** アイコン。



ヴォキャスター・ツー

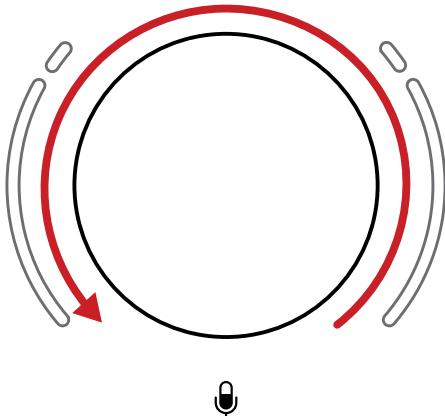


ヴォキャスター・ツー

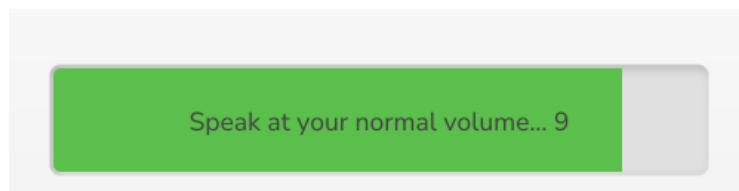
ソフトウェアまたはボタンを使用して自動ゲインを有効にすると、Vocaster は他のチャンネルのすべての入力コントロールを無効にします。

ここで、あなたまたはゲストは、録音に使用する通常の話し声で、マイクに 10 秒間話します。

ノブの内側のハローはカウントダウンタイマーとして機能し、最初は完全に白く点灯し、反時計回りに消灯します。また、進行状況バーも表示されます。 **ヴォキャスター・ハブ**。



Vocaster での Halo カウントダウン



Vocaster Hub カウントダウン

10 秒後、自動ゲインがマイクの入力レベルを設定し、録音を開始する準備が整います。

他の入力に自動ゲインを適用するには、もう一方の自動ゲインボタンを押し続けます **■**、このプロセスを繰り返します。

自動ゲインを使用した後でも、ゲインノブを使っていつでも手動でレベルを調整できます。もう一方の自動ゲインボタンを短く押します。 **■** 調整したい入力が選択されていない場合は、まず、

自動ゲインが入力レベルを設定しなかった

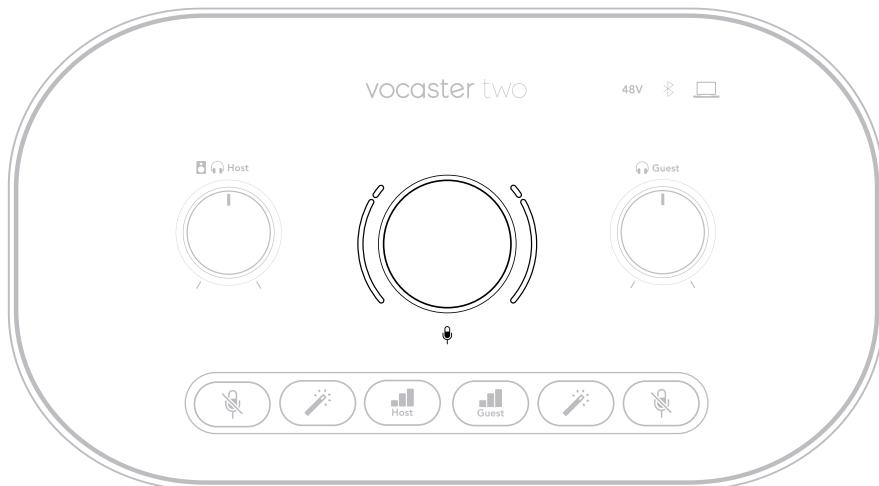
ハローがオレンジ色に点滅している場合は、信号が大きすぎるか小さすぎるため、オートゲインが適切なレベルを設定できず、最小レベルまたは最大レベルに設定されています。ハローが赤色に点滅している場合は、オートゲインが使用可能なレベルを設定できなかったことを示しています。

マイクのレベルが低すぎることが原因である可能性があります:

- 別のマイクまたはケーブルをテストします。
- コンデンサーマイクを使用している場合は、48V がオンになっていることを確認してください。
- マイクがオンになっていることを確認してください (オン/オフスイッチがある場合)。

手動ゲイン調整

の上 Vocaster Two 大きなノブが ホストマイクとゲストマイクの両方のマイクゲインと、録音ソフトウェアのレベルを設定するために使用されます。



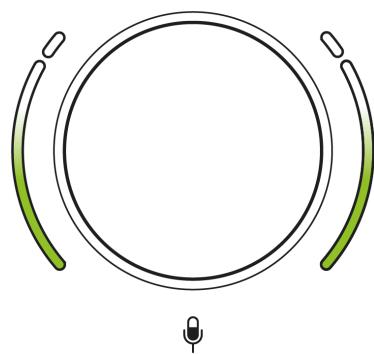
2つのマイクプリアンプのゲインを個別に設定できます。調整するプリアンプを選択するには、**ホスト**または**ゲスト**ボタン。(長押しすると、上で説明した自動ゲイン機能が起動します。)

どのプリアンプが選択されているかを確認するために、ボタンが明るい白色に点灯します。

ノブを回してゲインを調整すると、左側のハローが白に変わり、ゲイン設定が表示されます。

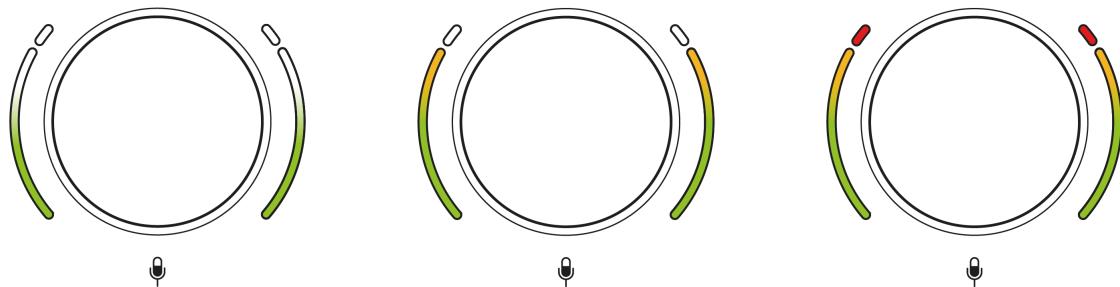
ゲインノブは LED の「ハロー」インジケーターに囲まれています。内側は連続しており、外側は2つの弧の形をしています。

外側のハローはさまざまな色で点灯し、マイクの信号レベルを示します。左のハローはホスト入力のレベルを示し、右のハローはゲストの入力のレベルを示します。



どちらかのマイクプリアンプのゲインを設定するには、調整する入力を ■ ゲインボタン(短押し)を押します。録音するときのようにマイクに向かって話し、最大音量で話したときにハローがオレンジ色に変わり始めるまでゲインノブを調整します。

この時点では、ノブを少し下げて、オレンジ色の光が見えなくなるまで調整してください。もし上部のハローが赤くなったら、ゲインノブを下げる必要があります。赤は録音が歪む可能性が高いことを意味します。(下の図を参照)

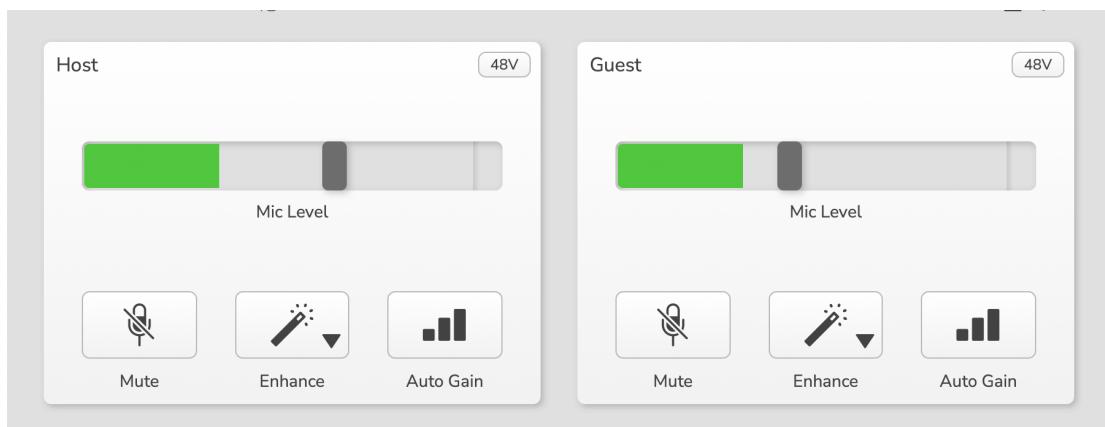


良いレベルです。

ちょっと高すぎます。

録音が歪んでしまいます。

ゲインを調整することもできます **Vocaster Hub** 画面上の **マイクレベルスライダー**: 右にドラッグするとゲインが増加します。



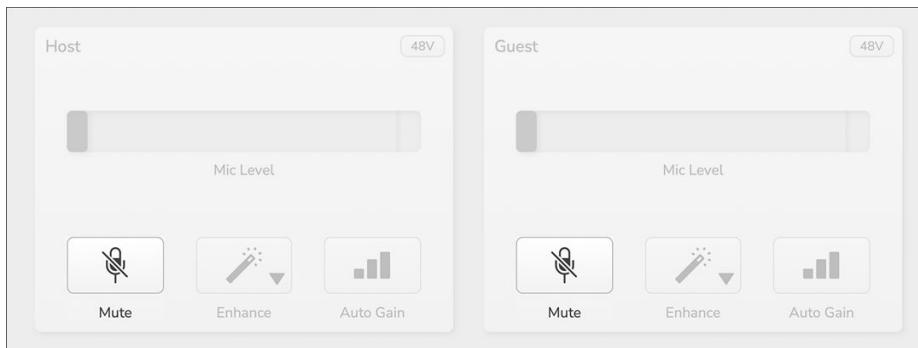
ホストとゲストの入力 Vocaster Hub

マイクミュート

両方のマイクチャンネルにはミュートボタンがあり、。



Vocaster Two



Vocaster Hub

これらのボタンを押すことで、いつでもマイクをオフにすることができます。マイクがミュートされている間、ミュートボタンと自動ゲインボタンが赤く点灯し、対応するゲインハローが赤く点滅します。もう一度ボタンを押すと、ミュートが解除されます。

ミュートボタン（同じアイコン）をクリックすることもできます。 **Vocaster Hub**（放送局ではこの機能を「咳スイッチ」と呼ぶことが多い。）

強化機能の使用

Vocaster Two の Enhance 機能は、マイクのオーディオ処理を最適化し、可能な限り最高の録音を実現します。

圧縮を使用してマイクの信号のレベルを制御し、イコライゼーションを使用して音声録音をよりクリアにし、ハイパス フィルターを挿入してゴロゴロ音やマイクのハンドリング ノイズなどの不要な低周波数を除去します。

いずれかまたは両方のマイク入力で Enhance を使用できます。

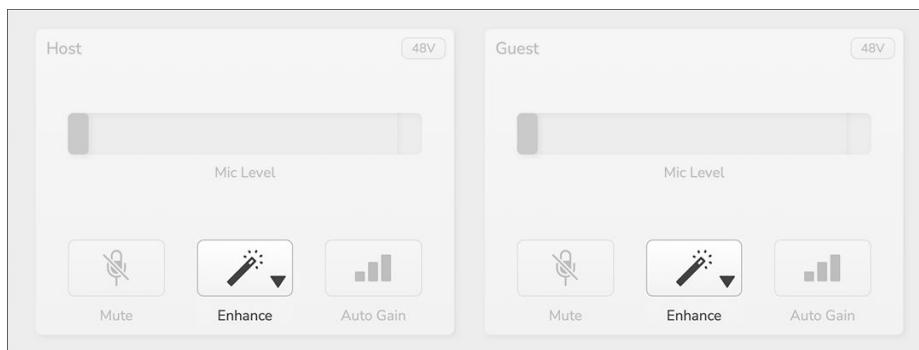
Enhance には、あなたの声や意図する声に合わせてサウンドを調整するための 4 つのプリセットがあります。Vocaster Hub のドロップダウン矢印から、4 つのプリセットから 1 つを選択できます。

- クリーン
- 暖かい
- 明るい
- 無線

強化を使用するには、杖のボタンの 1 つを押します ✎。持っている場合は **ヴォキャスター ハブ** 開いたら、画面上の強化アイコンをクリックします。



Vocaster Two

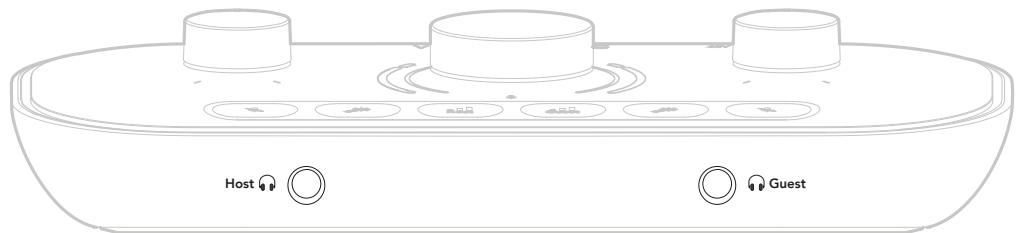


Vocaster Hub

エンハンス機能がオンの場合、ボタンは緑色に点灯します。もう一度押すとエンハンス機能がオフになります。

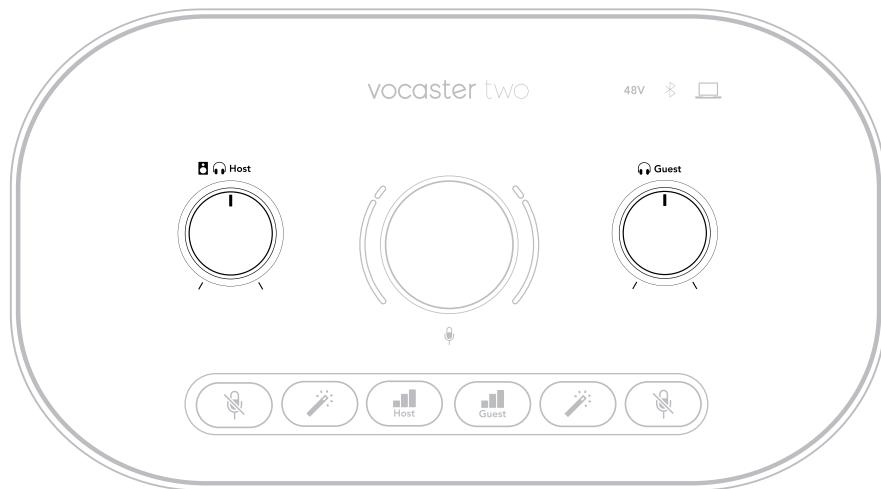
ヘッドフォンで聞く

ヘッドフォンアイコンでマークされたフロントパネルのヘッドフォンソケットにヘッドフォンを接続できます。 そうすれば、あなたとゲストは録音している内容を聞くことができます。



2つのソケットは、2つのマイクと、電話やコンピューターからの再生音（ループバックチャンネル）などの他のオーディオソースの同じ「デフォルト」ミックスを提供します。ミキサーを使用して、個々のオーディオソースの音量を調整できます。 **Vocaster Hub**。

各ヘッドフォンの音量は、コントロールで個別に調整できます。 Vocaster Two スピーカー/ヘッドフォンアイコンが付いている ホストおよびゲストの場合: これらのコントロールは録音レベルに影響しません。

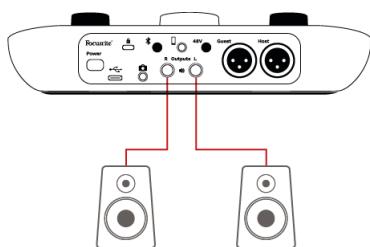


その ホストレベルはヘッドフォンとスピーカー出力の両方を制御します。ヘッドフォンを使用する場合は、モニターをミュートすることをお勧めします。 Vocaster Hub 見る [スピーカーで聞く \[21\]](#)。

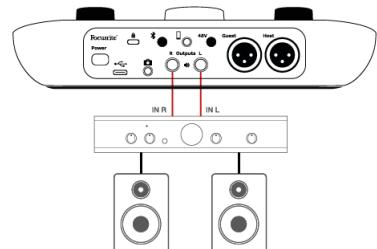
スピーカーで聞く

マークされた 1/4 インチのジャッキを使用してください 出力 R そして L スピーカーを接続します。

これらの出力には、パワードモニターやアンプを接続できます。スピーカーの音量は、ヘッドフォンの音量と同じノブで調整できます。



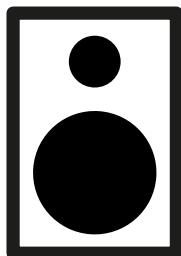
アクティブスピーカーに接続します。



パワーアンプを介してパッシブスピーカーに接続します。

出力はバランス型の 1/4 インチ TRS ジャックソケットで、ラインレベルに対応しています。小型のパワードモニターにはアンバランス入力があり、通常はコンピューターに直接接続するための 3.5mm ジャックプラグです。独立型パワーアンプには、フォノ (RCA) ソケットが搭載されていることが多いです。

Vocaster Hub ソフトウェアを使用してスピーカーをミュートすることもできます。Vocaster Hub ソフトウェアの右上にあるスピーカーアイコンをクリックすると、ミュートのオン (赤) とオフ (黒) を切り替えることができます。



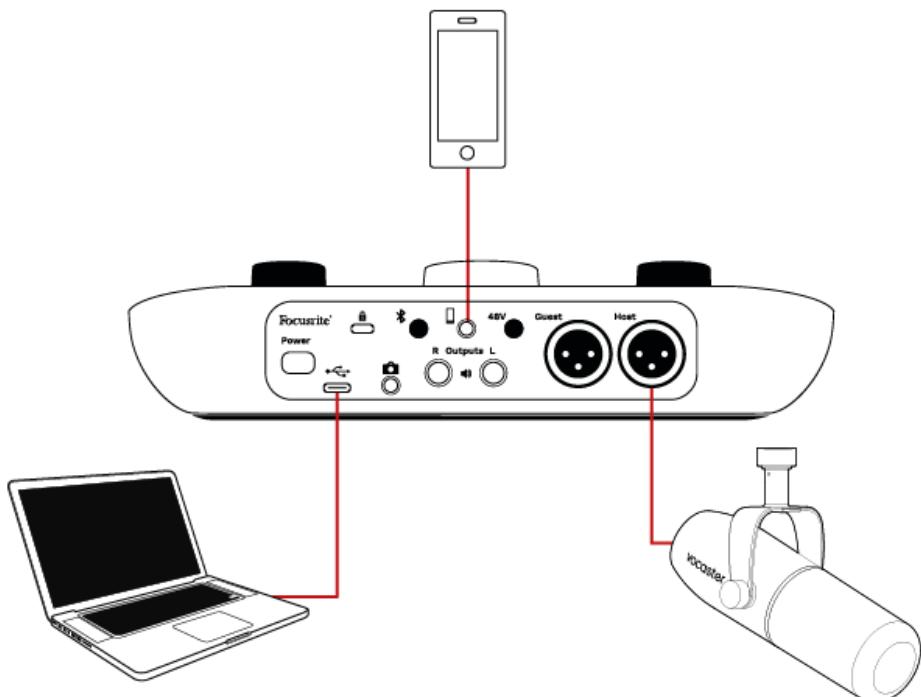
注記

スピーカーとマイクを同時に使用すると、音声フィードバックループが発生する可能性があります。ポッドキャストの録音中はスピーカーをオフにし、モニタリングにはヘッドフォンを使用することをお勧めします。

電話の録音

電話を接続すると Vocaster Two 会話を録音したり、携帯電話から音楽を録音したりできます。

背面パネルには電話コネクタがあり、電話アイコンが付いています □ これは 3.5 mm TRRS ジャックソケットです。3.5 mm TRRS ジャックケーブルを使用して、通常は 3.5 mm TRRS ソケットである携帯電話のヘッドフォンソケットに接続します。



3.5mm TRS ケーブルは機能しますが、電話のゲストとの双方向通信ができない可能性があります。

携帯電話に 3.5 mm ヘッドフォンポートがない場合は、3.5 mm TRRS ヘッドフォンアダプターを使用できます。

電話コネクタは Vocaster Two の出力を電話機に戻すことで、通話相手は自分の声を除いたポッドキャストミックス全体を聞くことができます。このタイプのミックスは「ミックスマイナス」と呼ばれ、通話相手が自分の声の遅延やエコーに悩まされることを防ぎます。

電話への信号レベルは、入力チャンネルスライダーの設定によって異なります。Vocaster Hub のミキサーです。電話機の入力はモノラルマイクなので、電話機に送られる信号はステレオミックスのモノラルバージョンです。

Bluetooth の使用

Vocaster Two の Bluetooth 接続により、携帯電話などの Bluetooth デバイスとの間でオーディオをワイヤレスで Vocaster にストリーミングして、録音に含めることができます。

電話と Vocaster Two、2 つのデバイスをペアリングする必要があります。

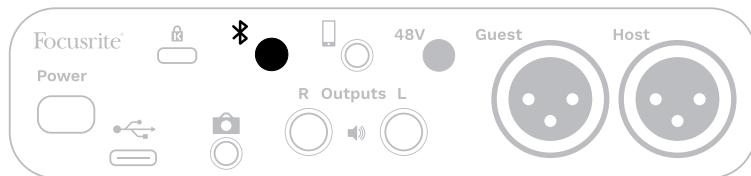
Bluetooth でペアリングして途切れのない音声を得るには、お使いのデバイスと Vocaster が Bluetooth の範囲内にある必要があります。Bluetooth の通信範囲は、開けた空間で約 7 メートルです。この範囲外では、デバイス同士がペアリングできない場合があります。通信範囲の限界、または障害物がある場合、音切れや途切れなどの問題が発生する可能性があります。

Vocaster は一度に 1 つの Bluetooth デバイスにのみ接続できます。

*Bluetooth オーディオは、ゲストとの通話中にのみ Vocaster から携帯電話に送信できます。ゲストには、自分の声がカットされたミックスマイナス（全体のミックス）が聞こえます。

デバイスを Vocaster の Bluetooth 入力にペアリングするには：

1. Bluetooth ボタンを長押しします * 背面パネルの を 3 秒間押し続けます。Bluetooth アイコンが白く点滅し、ペアリングモードになっていることを示します。



2. Bluetooth デバイスの Bluetooth ペアリング メニューに移動し、新しいデバイスをスキャンします。この動作はデバイスによって異なる場合があるため、不明な場合はデバイスのユーザーガイドを参照してください。
3. 選ぶ **ヴォキャスター BT** 利用可能なデバイスのリストから選択します。
4. プロンプトが表示されたら、Bluetooth デバイスと Vocaster のペアリングを許可します。

Vocaster Two 数秒後、Bluetooth アイコンが青色に点灯し、デバイスが接続されたことを示します。デバイスでオーディオを再生すると、**Vocaster Hub** の Bluetooth ミキサーチャンネル。ショーミックスや録音に含めることができます。

Bluetooth デバイスから接続されたスピーカーにオーディオをストリーミングすることもできます。Vocaster Two、そしてホストとゲストの両方のヘッドフォン出力を備えています。Vocaster は、コンピューターからの音声やホスト/ゲスト入力からの音声などを Bluetooth 経由で携帯電話に送信し、通話相手に届けます。

Bluetooth オーディオレベルをコントロールできます **Vocaster Hub**、接続されたデバイスでレベルコントロールが可能です。 **Vocaster Hub** ショーミックスのレベルのみを制御し、

Bluetooth L/R 録音トラック。



注記

Vocaster Two Bluetooth ヘッドフォンとペアリングできません。Vocaster Two の Bluetooth 機能は、携帯電話から Bluetooth オーディオをストリーミングするためのものです。Vocaster Two Bluetooth オーディオを携帯電話に送信して、ゲストに音声を届けます。

Bluetooth 接続を切断する方法は 3 つあります。

- Bluetooth ボタンを押します * Vocaster の背面パネルに表示されます。Vocaster の Bluetooth 接続を再度オンにすると、以前接続していたデバイスが再接続されます。

- デバイスの Bluetooth をオフにしてください。次回デバイスの Bluetooth を再度オンにすると、デバイスは Vocaster に再接続されます。
- デバイスの Bluetooth 設定で、Vocaster を選択し、「デバイスの削除」オプションを選択します。(このオプションの説明はデバイスによって異なります。)

Bluetooth アイコンの色は何を意味しますか？

- **灰色** - Bluetooth はオフです。背面パネルのボタンを押して Bluetooth をオンにしてください。
- **オレンジ** - Bluetooth はオンになっていますが、デバイスに接続されていません。以前にデバイスをペアリングしたことがある場合は、Bluetooth が有効になっていて、Vocaster の範囲内にあることを確認してください。
- 以前に Bluetooth デバイスをペアリングしたことがない場合は、上記の手順に従って初めてペアリングしてください。
- **白く点滅** - Vocaster はペアリングモードです。デバイスをペアリングするには、上記の手順 3 から始めてください。
- **赤** - Bluetooth 接続に失敗しました。ボタンを押して Vocaster の Bluetooth をオフにし、デバイスの Bluetooth を再度オンにして、上記の手順を繰り返してください。Bluetooth アイコンが赤のままの場合は、サポートチームにお問い合わせください。
- **青** - Vocaster とのペアリングが完了し、デバイスが Vocaster にオーディオをストリーミングする準備が整いました。接続を解除するには、ボタンを押すか、スマートフォン / デバイスの Bluetooth を無効にしてください。

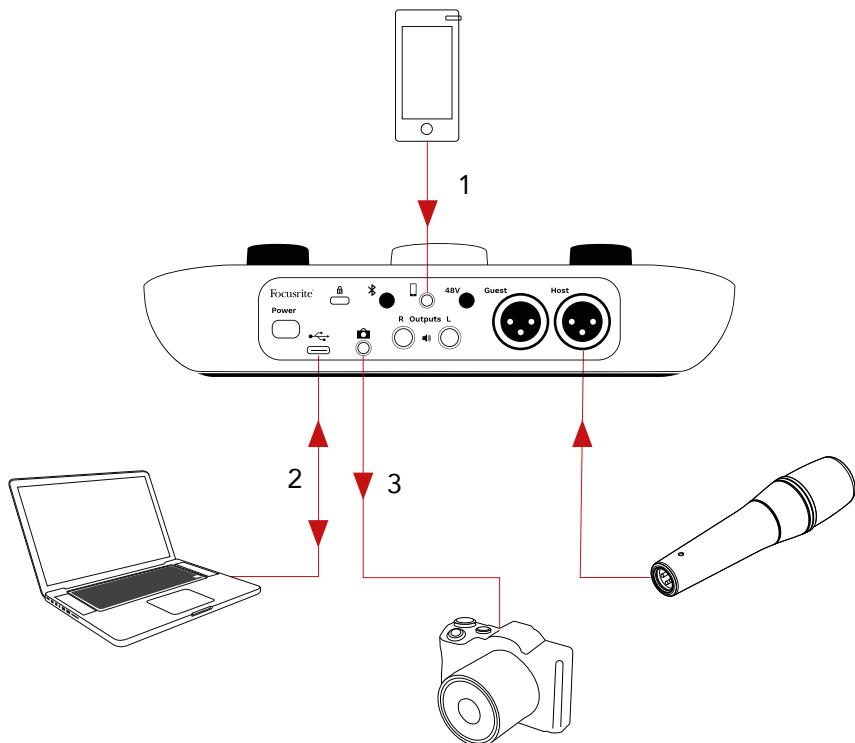


Vocaster Two の Bluetooth アイコン

ビデオカメラへの録画

ビデオを扱っている場合は、ビデオカメラにオーディオを録音することもできます。

Vocaster Two この目的のために専用の出力コネクタがあり、カメラアイコンが付いた背面パネルの 3.5 mm TRS ジャックソケットです。 3.5mm ジャック対ジャックケーブルを使用して、この出力をカメラのオーディオ/マイク入力に接続できます。



1. 電話からの音声。
2. コンピューターとの間のオーディオ。
3. すべての音声はカメラにルーティングされます。

カメラの入力が別のコネクタを使用している場合は、適切なアダプターケーブルをご使用ください。カメラの内蔵マイクではなく、外部オーディオソースを選択してください。

カメラ出力は、USB 録音出力と同じミックス、つまりスピーカーやヘッドフォンで聞こえる音と同じミックスになります。

カメラに送られるミックスとレベルは、スライダーを使って設定できます。 **Vocaster Hub** のミキサー。

使用方法 Vocaster Two の中で Vocaster Hub ソフトウェア

Easy Start 登録プロセスの一環として、**Vocaster Hub** コンピュータ上のソフトウェア。**Vocaster Hub** 追加のアクセスを提供します Vocaster Two 機能 - 最も重要なのは、ミックス内の他のオーディオに対して、自分とゲストの声のバランスをとることができます。



注記

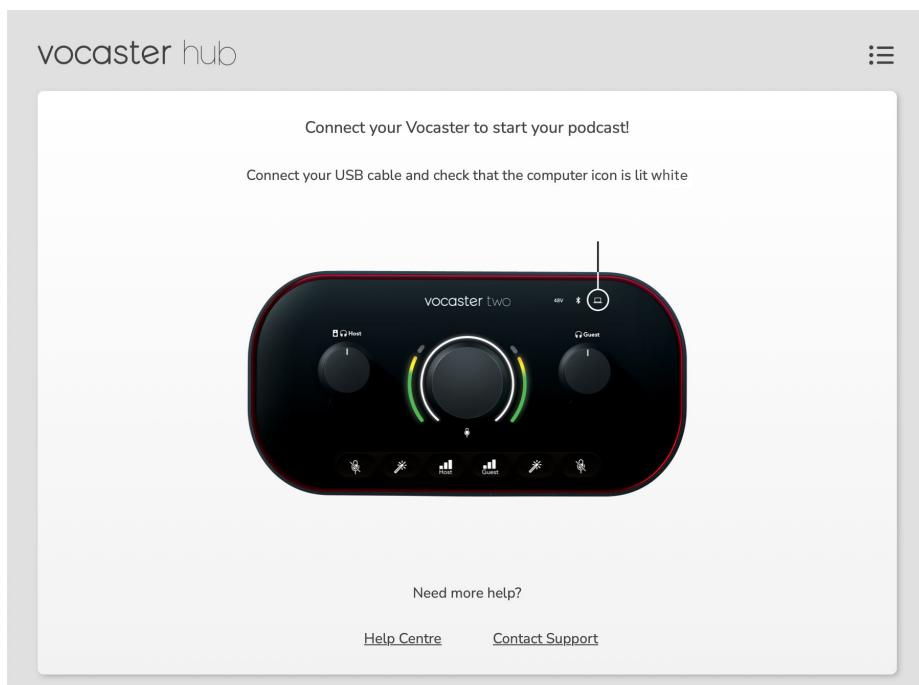
別途ダウンロードできます **Vocaster Hub** ユーザーガイド [ダウンロード.focusrite.com](https://www.focusrite.com) これは、**Vocaster Hub** 詳細については、このユーザーガイドの以下のセクションでは、ソフトウェアの主要な機能の概要のみを説明します。

開くには Vocaster Hub: インストール後 **Vocaster Hub** コンピュータ上のアプリケーションにこのアイコンが表示されます:



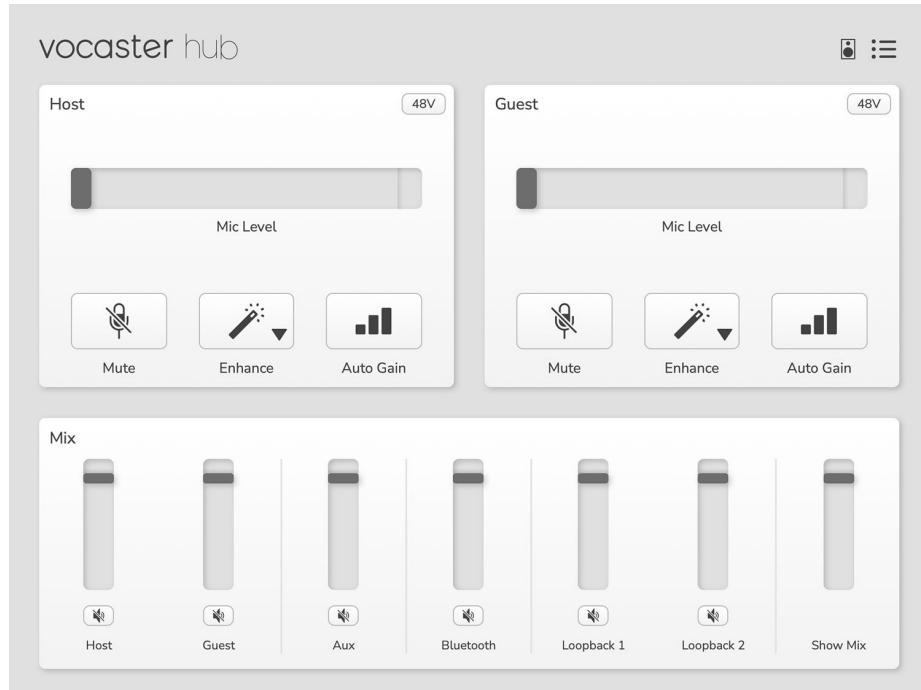
クリックして開く **Vocaster Hub**。

もしあなたの Vocaster Two インターフェイスがコンピューターに接続されておらず、電源がオンになっていない場合は、ようこそページが表示されます。



ヘルプセンターまたはサポートへのお問い合わせリンクにご注意ください。インターフェースをオフにすれば、いつでもこのページに戻ることができます。Vocaster Two の使い方に関する詳しい情報（チュートリアルビデオを含む）は、これらのリンクからご覧いただけます。

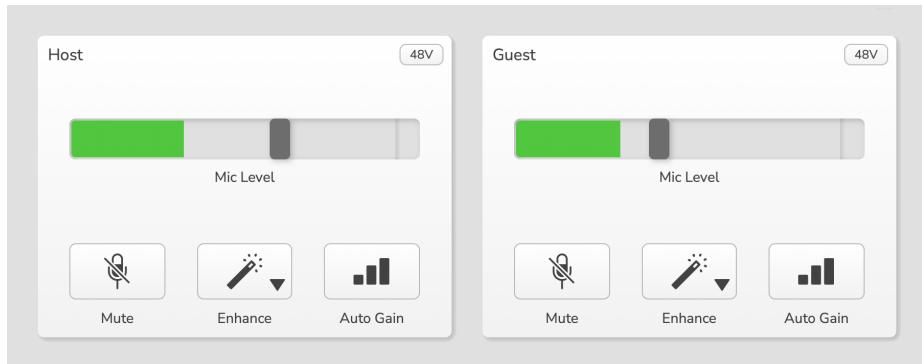
インターフェースを接続して電源を入れると、コンピュータアイコン  インターフェースがコンピュータと通信していることを確認するために白く点灯し、Vocaster Hub のコントロールページ：



コンピュータアイコン  赤く点灯すると、Vocaster Two コンピュータと通信できませんでした。ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。

マイクの制御

そのホスト入力そしてゲストの入力パネルは調整する場所です Vocaster Two のマイクチャンネル:



そのマイクレベル 2つのマイク入力の表示はどちらも同じように機能します。それぞれレベルメーターとレベルコントロールの両方を備えています。灰色のバーをクリックしてドラッグするとゲインを調整できます。このコントロールはインターフェース上のロータリーゲインノブと同じ機能を持ち、どちらのコントロールでもゲインを調整できます。

カラーバーにはマイクの信号レベルが表示され、これもインターフェイス上の信号レベルのハロー表示を複製します。

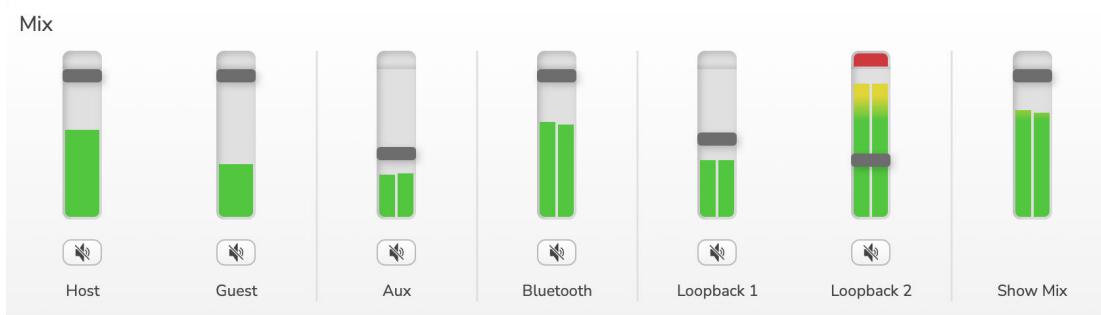
バーはほとんどの場合緑色で、最も大きなピーク時にのみオレンジ色で表示されます。赤色に変わるのは、ゲインが高すぎる設定になっています。

メーター/レベル表示の下には、インターフェイスのトップパネルにあるボタンと同じ3つのボタンがあります。

- **ミュート** - これをクリックするとマイクがミュートされます。ミュートが有効な場合、ボタンとレベル表示が赤く点灯します。インターフェース上では、ミュートボタンと自動ゲインボタンが赤く点灯し、対応するアークが赤く点滅します。もう一度クリックするとミュートが解除されます。
- **強化する** - これをクリックすると、エンハンス機能が有効になります。画面上のボタンとハードウェアボタンの両方が緑色に点灯します。もう一度クリックすると無効になります。
- **自動ゲイン** - これをクリックすると自動ゲイン機能が開始され、マイクに10秒間普通に話しかけてゲイン設定を調整します。

ミックスをコントロールする

そのミックスセクション ヴォキャスター ハブ ショーミックスを構成するオーディオ入力とコンピュータ出力のバランスをとることができます。



のようにマイクレベルコントロールの「スライダー」はメーターとレベルコントロールの両方の機能を持ちます。スライダーはヘッドフォン/スピーカーミックスと Show Mix 録音に影響しますが、ソフトウェアへの各チャンネルのレベルには影響しません。ミキサーのチャンネルは（左から右へ）以下の通りです。

- **ホスト（モノラル）** - これは Vocaster Two のホストマイク。
- **ゲスト（モノラル）** - これは Vocaster Two のゲストマイク。
- **補助（ステレオ）** - 背面パネルのコネクタに携帯電話を接続している場合に使用します。携帯電話から受信する音声レベルを調整します。
- **ブルートゥース（ステレオ）** - Bluetooth を使用して携帯電話やその他のデバイスからワイヤレスでオーディオをストリーミングする場合に使用します。
- **ループバック 1 そして ループバック 2（ステレオ）** - コンピューター内の 2 つのオーディオソースのレベルを調整します。これらのソースは、インターネットからのフィード、録音済みファイル、その他のソースです。下の画像では、Loopback 2 がクリッピングしているため、赤いクリップバーが表示されないようにするには、ソースレベルを下げる必要があります。
- **ショーミックス（ステレオ）** - ミキサーの全体的な出力レベルを表示および制御します。

Loopback 2 チャンネルでは、メーターの赤い部分が「クリップインジケーター」です。これは、ソースの音量が大きすぎて録音時に歪む可能性があることを示します。Bluetooth と Loopback は例外で、クリップとして表示される頻度が高くなる場合があります。

トラックのソースを下げる、ミキサーのスライダーではないショーミックスがクリップする場合は、ミキサーでトラックの音量を下げる。

コンピューターからの音声録音

Vocaster のループバック機能を使用すると、コンピューター内からオーディオソース (Web ブラウザからのオーディオ出力など) を録音できます。

ミキサーには 2 つのステレオループバックスライダーがあり、Vocaster Two の「仮想」入力です。仮想入力にはインターフェース上にコネクタはありませんが、他の入力と同じように DAW に録音できます。

各ループバック入力には、異なるソフトウェアアプリケーションから信号を供給できます。各ループバック入力で使用するアプリケーションは、アプリケーションの出力設定で設定します。

Mac ユーザーで、両方のループバック入力を使用する場合は、以下をお読みになることをお勧めします。 [このサポート記事](#)。

- ループバック 1 - この入力は、出力ルーティングが Playback 1-2 に設定されているソフトウェア、または出力ルーティングをサポートしていないソフトウェアから信号を受け取ります。ループバック 1 で使用できるソフトウェアには以下が含まれます。
 - インターネットブラウザ
 - Spotify や Apple Music などの音楽再生ソフトウェア
 - ビデオ通話および会議ソフトウェア
- Loopback 2 - この入力は、出力ルーティングが Playback 3-4 に設定されているオーディオソフトウェアから信号を受け取ります。ソフトウェアのオーディオ設定で設定できますが、すべてのソフトウェアで出力ルーティングを選択できるわけではないので、この機能についてはソフトウェアのユーザーガイドをご確認ください。Loopback 2 にオーディオを入力できるソフトウェアには、以下のものがあります。
 - 使用しているその他の録音または再生ソフトウェア
 - VOIP およびビデオ会議アプリケーション

ループバックの使用例

番組を録音する際に、両方のループバック入力を使いながら、後でミックスするために他のソフトウェアのサウンドを個別に録音する必要がある場合があります。例えば、番組内で、ビデオ通話中のゲストとの会話を録音するだけでなく、別のオーディオ再生ソフトウェアから再生したサウンドやジングルも録音したい場合などです。

ビデオ通話ソフトウェア (例 : Zoom) は、デフォルトで出力を Playback 1-2 にルーティングします。これはミキサーでは Loopback 1 として表示されます。再生ソフトウェアの出力を Playback 3-4 にルーティングすると、Loopback 2 として利用できるようになります。

録音ソフトウェアでは、録音用に個別のトラックを用意できるようになりました。

- ループバック 1 は DAW のチャンネル 11 と 12 に表示されます
- ループバック 2 は DAW のチャンネル 13 と 14 に表示されます

詳細については、Vocaster Hub ユーザーガイドを参照してください。

ソフトウェアへのトラックの録音

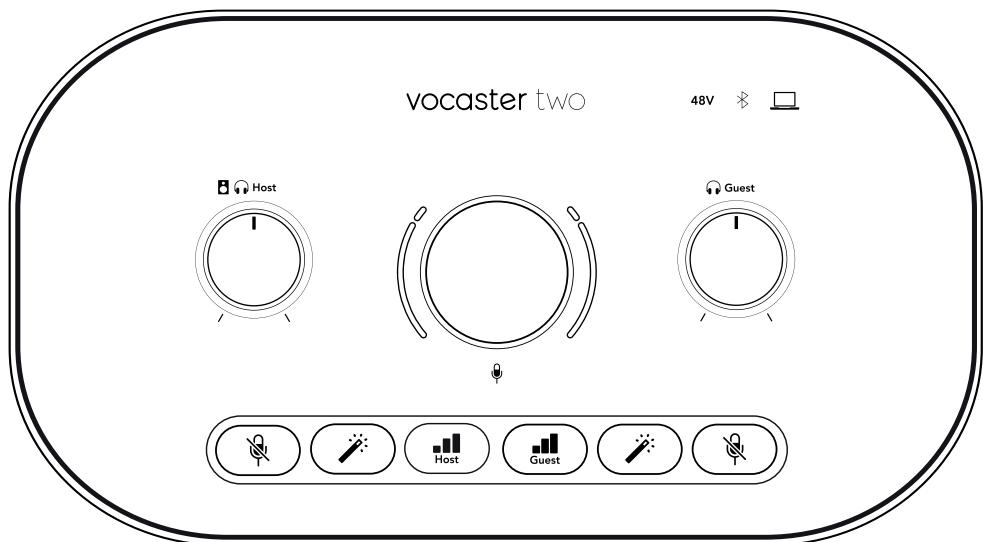
使用する録音ソフトウェアに応じて、最大 14 個のチャンネルから個別のトラックを録音するように選択できます。

表示される 14 のチャンネルは次のとおりです。

DAW 入力番号	ボキスター入力	使用
1	ビデオ通話 L	ループバックを除くすべての入力のミックス。これはミックスマイナスなので、ビデオ通話のゲストは自分の音声を聞かず
2	ビデオ通話 R	に番組全体を聞くことができます。
3	ショーミックス L	すべての入力をステレオミックスして、ショー全体を録音します。
4	ショーミックス R	
5	ホストマイク	ホストのマイク入力。
6	ゲストマイク	ゲストのマイク入力。
7	補助 L	Vocaster の電話入力に接続されたデバイスから供給される 2 つのチャンネル。
8	補助 R	
9	ブルートゥース L	Bluetooth 入力から供給される 2 つのチャネル。
10	ブルートゥース R	
11	ループバック 1 L	ソフトウェア再生 1-2 から供給されるソフトウェアからの信号。
12	ループバック 1 R	
13	ループバック 2 L	ソフトウェア再生 3-4 から供給されるソフトウェアからの信号。
14	ループバック 2 R	

Vocaster Two ハードウェア機能

トップパネル



コントロール

- 大きな回転式コントロールは、選択したマイク入力のゲインを調整します。ホストそしてゲストボタン。ゲインコントロールには 2 つの LED アークがあり、それぞれに機能があります。ゲインノブを囲む外側の LED アークは「ハロー」メーターです。左側はホストマイク入力用、右側はゲストマイク入力用です。
 - これらはマイクのレベルを示します。緑は通常の動作、オレンジは信号がクリッピングに近いこと、赤は常に回避する必要があるデジタルクリッピングを示します。
 - さらに、対応するマイクがミュートされているときは、各アークが赤く点滅します。
- ゲインノブを囲む薄い内側のリングは、多機能の「ハロー」LED です。これにはいくつかの機能があります。
 - マイクのゲイン調整中は白く点灯し、現在のゲイン設定を表示します。
 - 自動ゲイン調整中にカウントダウンタイマーとして機能します
 - いずれかのマイクプリアンプの自動ゲイン調整後、操作が成功したか失敗したかを示す緑色または赤色の点滅が表示されます。

ボタン

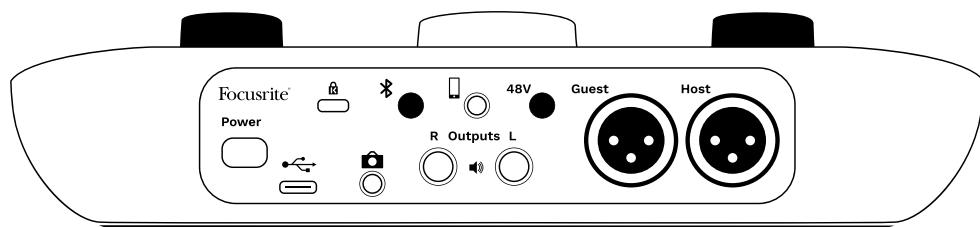
- ホストモニターの出力レベル制御 - フロントパネルの両方の出力レベルを設定します ホストヘッドフォン出力とリアパネルのスピーカー出力。

-  **ゲストモニターの出力レベルコントロール** - フロントパネルで出力レベルを設定します **ゲストヘッドホン出力**。
-  **マイクミュートボタン** 各マイク入力用です。押すとマイクチャンネルのミュート/ミュート解除ができます。ミュートが有効なときは LED が赤く点灯します。
-  **強化ボタン** 各マイク入力に対して。押すと Enhance 機能を有効/無効にします。Enhance が有効な場合、LED は緑色に点灯します。
-  **自動ゲイン** 短く押すと、ゲインノブがホストまたはゲストのマイクプリアンプに割り当てられます。長押しすると自動ゲイン機能が起動します。マイクに向かって 10 秒間普通に話すとゲインが設定されます。処理中は LED がオレンジ色に点滅します。

指標

-  **コンピュータアイコン** - インターフェイスが接続されているコンピュータと通信しているときに白く点灯する LED で、通信に失敗すると赤く点灯します。
-  **Bluetoothアイコン** - 電話またはその他の Bluetooth デバイスが Vocaster Two に接続され、両者間で音声を送信できるようになると、青色に点灯するマルチカラー LED です。
-  **48V** 現在選択されているマイク（ホストまたはゲスト）に 48V ファンタム電源が供給されている場合、赤色に点灯します。現在選択されていないマイクにのみファンタム電源が供給されている場合、薄暗い赤色に点灯します。

背面パネル



- 電源ボタン - 押すと電源が入ります Vocaster Two オンとオフ。
- USB 3.0 ポート - タイプ C コネクタ。付属の USB ケーブルを使用してラップトップまたはコンピューターに接続します。
- 
-  接続用の 3.5 mm TRS ジャックソケット Vocaster ビデオカメラの外部オーディオ入力に 2 つ。
- * Bluetooth 接続を有効にします。詳細については、「Bluetooth の使用」セクションを参照してください。
-  互換性のある電話機に有線接続するための 3.5 mm TRRS ジャック ソケット。
-  出力 L そして R モニタースピーカーへの接続用。1/4 インチ TRS ジャック ソケット ×2。電子バランス接続。1/4 インチ TRS (バランス接続) または TS (アンバランス接続) ジャック プラグを使用できます。
- 48V マイク入力用のファンタム電源スイッチ - 押すと、現在選択されているマイク チャンネルの XLR ソケットで 48V ファンタム電源が有効になります。
- ホスト そして ゲストマイクを接続するための XLR ソケット。

前面 :

-  ホスト そして ゲストヘッドホン出力ソケット。ここにヘッドホンを接続します。3.5mm ジャックのヘッドホンをお使いの場合は、3.5mm から 1/4 インチジャックへの変換アダプターが必要です。

Vocaster Two 仕様

性能仕様

これらの仕様により、Vocaster を他のデバイスと比較し、相互に動作することを確認できます。これらの仕様について詳しくない場合でもご安心ください。ほとんどのデバイスで Vocaster を使用するためには、これらの情報を知る必要はありません。

録音

対応サンプルレート	48kHz
-----------	-------

USB

バージョン	USB 3.0
最大電流	0.9A
最大電圧	5V
最大出力	4.5W

マイク入力

周波数特性	20Hz - 20KHz +0, -0.5 dB
THD+N	≤-94dB (@ -1dBFS)
最大入力レベル (最小ゲイン)	+12.5dBu
ゲインレンジ	70dB
入力インピーダンス	3KΩ

電話入力

入力インピーダンス	16KΩ
THD+N	≤-94dB
最大入力レベル (最小ゲイン)	0dBu
周波数特性	20Hz - 20KHz +0, -0.5

電話出力

入力インピーダンス	220Ω
最大出力レベル	-26dBu
THD+N	-73dB
周波数特性	20Hz - 20KHz +0dB、 -0.5dB

ライン出力 1 と 2 (バランス)

周波数特性	20Hz - 2kHz ±0.15dB
THD+N	≤-96dB
最大出力レベル	+14dBu
出力インピーダンス	440Ω

ヘッドフォン出力

周波数特性	20Hz - 20KHz ±0.5dB
最大出力レベル	+6.5dBu
最大出力電力	8.5mW into 270Ω 28mW into 33Ω
THD+N	-96dB unloaded
出力インピーダンス	20Hz - 20KHz ±0.5dB

カメラ出力

出力インピーダンス	220Ω
最大出力レベル	-24.5dBu
THD+N	-73dB
周波数特性	20Hz - 20KHz ±0.2dB

ブルートゥース

バージョン	5.0
範囲	オープンスペース 7 メートル。

物理的および電気的特性**その他のオーディオ I/O**

カメラ出力	リアパネルに 3.5 mm TRS ジャック
電話入力と出力	背面パネルに 3.5 mm TRRS ジャック
ループバック入力	Vocaster Hub 経由の 2 台 (ステレオ)

マイク入力

コネクタ	バランス接続 (リアパネルのメス XLR 経由)
ファンタム電源	48V、リアパネルスイッチ

重量と寸法

重さ	440g
身長	50mm
幅	224mm
深さ	113mm

アナログ出力

主な出力	バランス、2x 1/4 インチ TRS ジャック
ステレオヘッドフォン出力	フロントパネルに 1/4 インチ TRS ジャック
出力レベルコントロール (メインとヘッドフォン)	上部パネル

その他の情報

トラブルシューティング

トラブルシューティングに関するお問い合わせは、Focusrite ヘルプセンター support.focusrite.com にアクセスしてください。

著作権および法定通知

Focusrite は Focusrite Group PLC の登録商標です。Vocaster は Focusrite Group PLC の商標です。

その他すべての商標および商品名はそれらの個別の所有者の財産です。

2025 © Focusrite Audio Engineering Limited. 無断転用禁止。

コンプライアンスステートメント

Focusrite Audio Engineering Ltd は、本無線機器型式が Vocaster Two 指令 2014/53/EU に準拠しています。EU 適合宣言の全文は、以下のインターネットアドレスでご覧いただけます。

downloads.focusrite.com/focusrite/vocaster/vocaster-two

頻度	最大出力
2.4GHz (Bluetooth®)	100mW 未満

クレジット

Focusrite は、この製品の開発に尽力した Vocaster チームの以下のメンバーに感謝の意を表します。

ステファン・アーチャー、ベン・ペイツ、メアリー・ブラウニング、スティーブ・ブッシュ、トム・カートライト、ピート・カース、ジェイソン・チャン、ダニエル・クラーク、ジャック・コール、ベン・コクラン、ベン・クック、ダン・ウェストン、ヴィドウル・ダヒヤ、ヴィンチェンツォ・ディ・コスマ、マーティン・デワースト、ジョー・デラー、カイ・ヴァン・ドンゲン、エド・フライ、アドリアン・フォーコネット、ミハイル・フラキアダキス、ジェッド・フルウェル、セラフィン・グネーム、ライアン・グレイ、クリス・グレイブス、イアン・ハダウェイ、オーラ・ヘイ、ジェイク・ウィグナー、エディ・ジャッド、ジェームズ・ジョンソン、ダニエル・ヒューリー、ルーク・マシューズ、ムケシュー・ラヴィンジア、ジェームズ・オッター、アレックス・ミドルトン・ダルビー、ハリー・モーリー、デビッド・マーストン、アンソニー・ニコルズ、デレク・オール、ジェームズ・サージェナー、マイク・リチャードソン、ライナス・ライトマイヤー、ブラン・サール、ストラティス・ソフィアノス、ロブ・スティーブンソン、アレックス・ウッド。